



# fisuel INFO

FISUEL NEWSLETTER

International Federation for the Safety of Electricity Users

## 国際電気保安連盟インフォメーション

### 論説



#### 新規会員ASECより

電気の需要家の保安は、電気設備・機器の品質に依存しています。この品質自体が様々な活動、人、管理や組織の連携の結実です。フランス・モデルの構築などに60年ほどの時を要したのです。1950年代に存在した標準、規制、NFUSE品質

マークは、ほとんど知られず、わずかにしか適用されませんでした。電気設備の施工業に就くことに関して、何の規制もなかったのです。電気の品質プロセスが1955年に開始されました。電気請負業者への免許付与を目的として、Qualifelecという協会を職業電気士が設立しました。情報の必要がすぐに感じられました。1962年、業者への情報提供によって電力の利用を促進することを目的にPromotelec協会が設立されました。フランスの法律により、就労者は自身の仕事に責任があります。従って、電気士は彼が従事した電気設備について責任があります。1964年に、施工業者の判定、つまり電気設備がフランス標準NFC15100に適合するように行われているかを確認する目的でCONSUELが設立されました。続いて、様々な理由(事故、新技術、家庭用機器からの要求の増加、テレビ、コンピュータや自動化、エネルギー効率、グローバル化、住宅の経年変化など)から、規制や規範的規定の再検討が始まりました。新規の電気設備に対して(CONSUELが交付する)適合証明書を義務化する1973年の法令は、2001年には設備の全面改修にも拡大されました。NFC15100は、1990年と2000年に新しい進歩を考慮した改定が完了しました。情報・通信はPromotelecを通じて重視されるようになり、NF適合マークの付いた製品の使用の勧告については特にそうです。これら全ての行動は現在も続けられ、私たちが電気保安を完遂したと信じるようになったかもしれません。しかし、フランス市場へ危険な不適合器具が入ってくるという新しい問題を見落としていたのかもしれません。2008年、フランスのメーカーの支援により、危険な不適合電気器具との戦いと、市場の管理・監督当局の活動支援を目的として、ASECが設立されました。

要約しますと、フランスにおける電気保安のチェーンが、標準化、規制、免許、検査、促進、認証と、危険な不正品との戦いといった、一連のつながりによって作られたのです。

Maurice Dhooge

ASEC会長

#### 2月20日:ブエノスアイレス電気保安の日(アルゼンチン)



APSE(電気保安促進協会)は、関係組織、団体の協力を得て、当局の検討事項の中に電気保安が位置づけられることが重要と考えました。そして、ブエノスアイレス市議会議員のリア・ルエダ

議員に連絡を取り、本件に関心を持っていただくこととしました。

2月20日を「ブエノスアイレス市の電気保安の日」とする条例案が提出され、市議会議員によって検討され、安全・エネルギー及び消費者保護委員会の審議と公聴会での議論が行われました。本件はいずれの場でも全会一致で承認され、法律4210号として成立しました。その選ばれた日は、意味のない日ではなく、APSEの前会長で電気保安について功績のあったアルベルト・ルーベン・イアコニス教授の誕生日です。

2013年2月19日、ブエノスアイレス市庁舎で、最初の「電気保安の日」を祝う行事が行われました。その時、技術士でFISUEL(国際電気保安連盟)会長のパトリシア・イェルフィーノ女史が挨拶の中で、電気保安の基本的な概念と、建物の電気保安の適合性と新技術への適用能力の重要性を強調しました。ブエノスアイレス市議会で、この法律の施行の責任者でもあるリア・ルエダ女史からも挨拶があり、また技術士でASEL(アルゼンチン電気保安市民協会)の創設者のアルベルト・ペレス氏と、技術士で国立技術大学教授職高等技術院学術局長のカルロス・マニリ氏からも挨拶がありました。





## 新規会員



ASEC(電気保安遵守協会)は電気関係業界の主要機関によって2008年に設立され、全ヨーロッパにおける電気設備関係のサービスについて、電気の世界の安全・安心のビジョンを共有しています。



ASECの役割は、電気設備の需要家の保安を確かなものとするため、管理された法的枠組みの中で、具体的な行動を通じて、危険あるいは不正な電気製品に対する戦いに対して、精力的かつ効果的に貢献することです。

ASECの主な目標は、次のとおりです。

- ・管理・監督当局の活動の強化
- ・危険な電気製品の市場からの排除
- ・危険又は不正な電気製品の拡散の抑制
- ・全ての関係者の被害の調査の強化

重点目標としている電気製品は、コンタクト・ブレーカーとディファレンシャル・スイッチです。

ASECのフランス市場での活動により、いくつかの危険な製品は市場から消え、改良によって品質上問題がなくなり、その他多くのものはNF適合マークの付いた電気器具となっています。

次の3年間は、全ての供給ルートに私たちの活動を広げ、広報・注意喚起プログラムを強化することを計画しています。



BI電気サービスは、北アイルランドに拠点を置く、電気エンジニアリングの全てのサービスを提供する会社で、設備管理、電気請負業及び設計建設の3つの核となるサービスを提供しています。1989年以来、Berfast Education and Library Boardのようなイギリスの国内機関や、Capita、KPMGなど国際的に展開するプレーヤーと協力して活動してきました。イギリスを代表する電気請負業者として、電気保安を推進してきました。このことは私たちの業務に反映し、電気の需要家の保安のために、既存・新規の規制と管理制度に効果的に対応する、ベストプラクティスを促進しています。電気保安は私たちのビジネスの中で重要ルールであり続け、中国など国際市場においても私たちのサービスへの需要に対応しています。私たちのfisuelに対する代表者はジム・スピーアーズで、国際的な保安基準の標準化の意欲的な促進を希望しています。ジムは、Ascertivaグループの前会長で、公認品質協会(CQI)の現理事長でもあり、またその前身の品質保証協会(IQA)の理事長でもあった経歴を持ち、FISUELに多くの貢献ができると信じています。私たちは、これからの数カ月又は数年間、電気保安のために、他の会員とともに働くことを楽しみにしています。

ジム・スピーアーズ



## 体制と目的



CONSUELECは、電気分野の業界と消費者団体からなる独立組織で、ガボンにおける電気の生産・消費段階での品質と安全の標準化の確保を目的としています。

## 役割

- ・電気設備の設計と提供に関する調査の準備と実施
- ・それら設備の適合性のモニタリングに関する法的義務規定の実施
- ・施工業者の研修事業の開始
- ・電力に関する現行規制の改善の提案
- ・既設・新設の電気設備の点検の実施
- ・需要家に対する注意喚起のための広報事業
- ・全国エネルギー管理プログラムの策定
- ・認定証及び適合証明書の発行
- ・ガボン市場の電気設備の品質モニター

## 組織

CONSUELECは、理事会及び運営委員会によって管理されています。事業の実施は、有能な職員と外部専門家によって支えられています。

## 資金

CONSUELECの活動資金は、会員の年会費、事業収入、資産と有価証券からの金利・配当収入、借入金、補助金、その他法的に認められた資金によってまかなわれています。

各年度の収益は、ガボンの電力部門の開発のための基金に組み込まれます。



## 会長のインド訪問



FISUELの広報のため、戦略的計画に沿って、FISUELの会長が2013年5月27、28日にニューデリーを訪問しました。

会合は、銅協会の協力を得て、エネルギー市場の官民の団体により開催されました。国レベルの問題について議論するために意見交換会が開かれ、特に電気保安を中心課題として最善実施例を取り上げ、大変有意義な意見交換と電気事故に関する統計の提供の機会となりました。

私たちの訪問について、高い関心を持っていただき、また貴重な時間を割いていただいた方々に御礼申し上げます。各無関係機関の事務所を訪問し、

連盟からの発表を行い、各国にとって有益な協働を作ることを目的とする、意見交換や、知識と経験の共有の重要性、及びそれをFISUELが促進していることを強調しました。

私たちはまた、AVUT(電気事故が原因のUphaarの惨事の被害者の会)の会長と面談しました。この会合で大変大きな関心を持っていただき、今後数か月以内に、このような会合か、共同活動を実施することの可能性を検討することになりました。私たちは、本年11月にポーランドで開催予定のFISUELのフォーラムにインド市場の代表者を招待しました。

お会いした代表者の方々:P. UmaSchankar氏(インド政府電力省Secretary)、CK Varma氏(CE(Elec), CPWD)、Deepak Chugh(タタ電力デリー配電会社技術主任)、Uday Mishra氏、KumalPareek氏、SaurabhSrivastava氏

## 年次大会の3つのセッションの報告

### 1) 不正製品セッション

本件は、その定義から人的被害、不適合製品から偽造品、犯罪行為から世界的な被害、個人的な活動から集団的な活動のように、世界の様々な分野における、変化の過程において重要性を増しています。電気設備、製品や部品は電気保安に大きな貢献をするものですから、FISUELは連携、強化して、最終消費者の関心を高め、世界的な統計と本分野での最善実施事例を世界に広げるべきだという結論に達しました。

### 2) スラム街の電化セッション

これはFISUELにとって新しいテーマで、主要かつ世界的な現象です。様々な国が関係しており、新しく急速に建設された建物から不法な電力利用、電気部品の窃盗から危険な接続といったことまで関係しています。

この要請に応じて、スラム街の電力接続の適正化、スラム街の住民の研修、エネルギー効率のシンクタンク、教育、古い家庭用電化製品の交換、MICEMのような事業が、世界中で数多くのプロジェクトとして開始されました。これら全てが命を守る基盤を作るものです。FISUELは、これを支援し、付加価値を明確化しなければなりません。

### 3) 保安と電気統計セッション

保安と統計はFISUELの主要事項です。点検から定期検査、規制遵守の正常化から評価、住宅分野から産業用、個人住居から共用ビル、新設から既設電気設備、電気接続から設置業者の資格、広報から市場調査、事故から電気が原因の火災、既設住宅から電気設備の革新技術(太陽光発電)への適合まで、様々なものがあります。

保安と統計は、FISUELの世界規模での信用の基礎であり基本であります。

各国の電気保安バロメーターを作ること、各地域の情報やデータを収集するための質問票を作ること、国内の情報交換を国際レベルに拡大することという、3つの行動により、電気保安の解決策と最善実施例、統計及び情報交換の推進という、**3つの取組が提案されました。**

## リスボン大会



年次総会において、新たに、中村秋夫氏とMalick

Diallo氏の2人を、前任者の残任期間の理事会メンバーとして選出しました。

2012/2013年活動報告の概要は次のとおりです。

・5つの主要地域毎のワーキンググループの設立、うち3つ(アフリカ、アジア及びヨーロッパ)は正式に発足済み、手法と目的の主要点を決めるワーキングガイドの作成

・FISUELのイメージの調和、連盟のグラフィックマークに関する議論の開始、電気保安バロメーターの作成

・新規の3会員の加盟:フランスのASEC、北アイルランドのBI電気サービス、ガボンのConsuelec

2013/2014年度については、戦略的計画の推進に向けての3つの重要取組事項の設定と、次回ポーランドフォーラム開催を含む主要活動の実施

2012年決算と2013年予算が承認され、2014年の年会費は、正会員が4200ユーロから4500ユーロに、準会員は3200ユーロから3500ユーロに値上げが承認されました。

特別総会が、正会員と準会員の規定に関する規約の変更のため開催されました。新しい規定では、正会員は、電力需要家の保安に関する事業を実施する法人、準会員は、電気保安に関係又は関心を有しその促進に貢献することを希望する法人となりました。





新しい規約は県に届けられ、[www.fisuel.org](http://www.fisuel.org)に掲載の予定です。

## ワーキンググループのガイドライン

2013年度の地域とグループリーダーは次のとおり。

- ・アフリカWG:コートジボワールのLBTP SecurelのEmma AmaniAmenan Bony氏
- ・ラテンアメリカWG: 今後決定
- ・アジアWG: 韓国のKESCOのHeung-Shik Shin氏
- ・ヨーロッパWG:ポルトガルのCertielのMaria Joao Almeida氏及びフランスのCONSUELのPatrice Bukisow氏
- ・中東WG: 今後決定

活動範囲は、住宅を第一に位置づけ、商工業も扱うこととしました。

## 行動計画

- ・ワーキンググループを正式なものとするため、リーダーと専門家を確定し、会合の日程を決めること
- ・FISUELの非会員の新しい専門家に対してもワーキンググループをオープンにすること
- ・電気保安の枠組みの中で、電力分野での様々な関係者からの貢献について明確にすること(標準化、施工、建設、点検、配電など)
- ・各国の電気設備に関する一般的な規則を体系化、明確化すること:電気士(電気工事士)に就くための方法、会社の要件、規制と適用される規格、新設・既設設備の様々な点検・調査制度
- ・次の4分野における最善実施例と国内情報をとりあげること:新設・既設の電気設備の保安、不正製品(不適合、危険、偽造)、統計(電気設備、電気が原因の事故・火災)
- ・スラム街の電化についてFISUELとして付加価値をつけられる方法の確立

## あなたの予定日

- ・2013年11月28日(木)、29日(金)、ワルシャワ(ポーランド)においてFISUEL国際フォーラム開催。前日の27日にWG会合
- ・2013年11月28日(木) ワルシャワ(ポーランド)
- ・2014年3月 パリ(フランス)
- ・今後の理事会

・電気保安への寄与の基準によって定義される電気保安バロメータの更新

・太陽光発電設備、電気自動車充電、落雷・サージ電流の保護、トレーサビリティなどの電気保安関連の新技术へ拡大すること

・FISUELの国際的な情報交流を組織化すること

全体調整は、事務局長によって行うこととします。

## ヨーロッパ・ワーキンググループ報告

デニス・アノタン氏の離任後、ヨーロッパWGの調整は、Maria Joao Almeida氏とPatrice Bukisow氏が共同で行うこととなりました。

1月の準備会合で、本グループのメンバーと、活動に加わるメンバーのリストを作成しました。目標は、FISUELの戦略的計画に沿って決められました。重視された点は、現行メンバーと新規メンバーからの活動への協力促進です。

2013年4月にパリで最初の会合を開き、議題は次のとおりでした。

- ・FISUELのウェブサイト上の資料の改定版とその執筆者の特定
- ・FISUELの資料の新しいデザインに関する取組の承認
- ・各資料の改定版の検索システム作り
- ・全ての資料のフランス語版と英語版の準備
- ・各国が、電気設備の保安を保証することの重要性を理解し、そのような事故の経済的・社会的影響について考えることを助けるために、統計が重要であることを踏まえ、銅協会の事故統計の利用を図ること

本グループでは、次のFISUEL資料で扱わなければならない技術的な事項について検討しました。特に、国際規格(IEC及びCENELEC)のフォローです。

今回の作業は次のとおりです。

- ・各資料の完全な再編
- ・次の資料の項目の決定
- ・ヨーロッパでの事故統計の解析

次の会合は2013年10月の予定です。



Fisuel Info is available through the email.

21, rue Ampère 75017 PARIS  
Tel. 33 (0) 1 56 79 50 10  
Fax. 33 (0) 1 56 79 50 15  
e-mail : [fisuel@fisuel.org](mailto:fisuel@fisuel.org)